

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ダイセル（証券コード: 4202）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- セルロイドの製造を出発点とし、酢酸系事業・製品に強みを有するスペシャリティ化学メーカー。アセテート・トウ、エンジニアリングプラスチック（エンプラ）のポリアセタールや液晶ポリマー、自動車エアバッグ用ガス発生装置（インフレータ）などで世界トップクラスのシェアを持つ。20年に完全子会社化したポリプラスチックを通じてエンプラ事業の拡大を目指しており、中国やドイツで生産能力増強にむけた設備投資を積極化している（25/3期以降稼働開始予定）。
- 厳しい事業環境ながら、安定した収益力を維持している。自動車生産の回復の遅れや電子デバイス市場での在庫調整の影響を受けているものの、主力であるアセテート・トウの需要が堅調である他、エンプラは需要の分散効果を背景に安定的に利益を確保している。原燃料価格の上昇に対しても価格転嫁で概ね吸収できている。主力製品の競争優位性や良好な顧客基盤にも変化はない。エンプラ事業の拡大などに向けて24/3期に設備投資が集中するが、現状並みの財務構成は維持出来ると考えられる。以上により、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 23/3期の営業利益は475億円（前期比6.3%減）となった。ディスプレイ関連製品の販売数量の減少やインフレータでの人件費や物流費増加などがマイナス要因となったが、主力製品が支えたことで減益幅は比較的小幅なものに留まった。24/3期会社計画の営業利益は530億円（同11.6%増）と増益を見込んでいる。減価償却費の増加が負担となるものの、米国でのインフレータ製造の自動化率引上げでセイフティ事業の採算が改善するほか、加熱式たばこ向けのアセテート・トウの需要増加などがプラス要因となる見込み。
- 23/3期末の自己資本比率は38.6%（22/3期末38.9%）と前期末から大きな変化はみられない。24/3期はエンプラの生産能力増強などで980億円（23/3期は536億円）と高水準の設備投資額が計画されている。ただ、これらの投資資金は営業キャッシュフローや手元資金などで賄う方針である。また、利益蓄積に伴う自己資本の拡充も見込まれることから、現状の財務基盤が大きく損なわれる懸念は小さいとJCRでは考えている。

（担当）藤田 剛志・金井 舞

■格付対象

発行体：株式会社ダイセル

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年9月13日	2023年9月13日	1.05%	A+
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月15日	2024年9月13日	0.230%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月15日	2027年9月15日	0.370%	A+
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年12月14日	2023年12月14日	0.080%	A+
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年12月14日	2025年12月12日	0.160%	A+
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年12月14日	2027年12月14日	0.380%	A+
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年12月14日	2030年12月13日	0.500%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	300億円	2023年3月31日から2年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	500億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年6月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2022年6月15日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ダイセル
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル